



2005 年 10 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子・八巻 晤郎

～9 月例会報告～

9 月 20 日（火）倶楽部ルームにて 20 名の出席者
で開催されました。

今月は特に企画は用意されていませんでしたが、
いつも例会人気の淡路屋さん提供のお弁当包みの
開封から始まりました。

先ず風呂敷を開いたら、なんと三段重の豪華「お
月見ご膳」。窓から見える中秋の名月を眺めながら
の和やかな会食、ビール、お酒も松茸ご飯の味を
一層引き立ててくれました。

お腹もほどよく満たされた頃、今回は特に講師
もないことから出席者により、順番に近況報告そ
他のショートスピーチという、以前の懐かしい
例会スタイルで進められました。

久しぶりに出席の森 隆元会長のお話しは、BRB
2004 年 11・12 月号「社中の心」に連載のエッセイ
「アルプス縦断」の続編ともいべきパノラマの
再現で、あの時の感動を熱く語られ、まさに 75 歳
少年（？）の健在ぶりをアピール。後輩たちは大
先輩から元気パワーを分けていただきました。



前田会員の「だんじりの話」（今月号会員だよりに
投稿）や吉田会員の「ストレスの話」、また「健康
の話」等、興味深い話もたくさん出てきましたが、
紙面の都合上割愛させていただきます。

会は盛り上がり 9 時頃の閉会となりましたが、

会員相互の親睦は益々深められたものと思います。

この日のトピックスは、本年度卒業の日下（く
さか）一哉さん（下の写真の左端）が、たまたま
外回りの仕事中に倶楽部の看板を目にして立ち寄
ったのが偶然にも例会日、業務を早めに切り上げ
見学がてらに覗いてみて入会されたという事でした。

若い方の入会大歓迎！倶楽部の活性化も図りたい
ものです。



このような夕飯を仲間と一緒にいただくという気
楽な例会も中々面白いものです。

欠席の皆さま、会費も安いですし来月はぜひご参
加ください。

10 月 20 日（木）18：30 倶楽部ルームにて開催し
ます。

堀 友子（昭 43 商）

《来月は関西合同三田会開催！！》

本年度関西合同三田会は事前登録制で、好評の
うちに申込みを締め切っています。当日の飛び込
み参加は原則として受け付けないことになってお
りますのでご了承ください。

『心配りは社中のDNA』

藤田克雄(昭三十七商)

ゼミに入り、五代友和君に出会う。育ちの良いKOボーイという感じで、さぞモテたことと思う。彼と二人、先輩によく誘われて麻雀に付き合わされた覚えがある。レートが高くて平気な顔をして結構負けなかったから誘いやすかったのだろう。この時、十五年後に神戸に縁もゆかりも無い私が、彼に再会し随分と世話になる運命だとは夢にも思わなかった。

卒業後「日本ゼオン」という会社で十五年間お世話になった。塩ビ・合成ゴムのメーカーで人間関係にも恵まれ、営業・人事と楽しく仕事が出来たし、実績もまあまあという実感を持っている。凶らずも神戸で自営の道を歩むことになったが、神戸の持つ開放的な風土に、つくづく助けられたと感謝している。そして大きな支えになって頂いたのが「神戸慶應倶楽部」である。

入会した時は浜根会長で、実に抱擁力のある楽しい雰囲気を出す素晴らしい方だった。少しばかり口が悪く「アホ」とよくおっしゃっていたが、ニコニコしながら慈愛のこもった発音なので、言われた方は気を悪く

するどころかみんな嬉しそうな顔をしていた。同時に「心くばり」の達人。私は浜根会長に廣野ゴルフ倶楽部へ推薦して頂いたが、理事長面接の日程が決まりましたとご報告すると、喜んで下さり「面接に行く前に僕の処にちよつと寄れよ」と言われご訪問したが、それとなく気力とか服装などをチェックして頂いたのだと思いついその思いやりに心の中で感謝申しあげた。

ついでに、先代の乾理事長の面接を少しご紹介すると「浜根はこれまでギョーサン、慶應の連中を紹介してきたが、碌なのは居らん。君は少しマシそうやな」お二人とも口の悪さを装って、人を蕩かす名人だった。

浜根会長以降、森・上島・和田・五代会長と続いているが「心くばり」が素晴らしいということ、加えてユーモラスな「口の悪さ」ということにも、大きな共通点を感じる。

私の現在の仕事は「インテリア材料の卸売業・内装工事・リフォーム業」とい

ったところだが、早いもので三十年近く経過した。業界の世話役も勤めてきたことから、昨年の春「黄綬褒章」を頂き、夫婦同伴で皇居に行き天皇陛下からお言葉を賜わった。戦後教育の私には特に感懐めいたものは多くなかったが、受章発表の日に届いた一通の祝電には、心を打たれた。それは、塾長からのもので「あゝ、母校はここまで心くばりをしてきている」という想いだった。

福澤先生は「独立」についてこう説かれている。「独立にも心身二様の別ありて、まず一身の経済の独立、これを身体の独立といい、社会の交際、処生法にわが思うところを言い、思うところを行ない、秋毫の微も屈することなきを、心事無形の独立という。」

「心くばり」とは心身の余裕、まさに独立のなせる業であろう。

ならば、神戸慶應倶楽部の歴代の会長に代表されるように、また、母校の「心くばり」を想う時、これは「独立自尊」を建学の精神とする我が慶應義塾のDNAかとさえ思うのである。

会員だより

《岸和田 だんじり祭》

前田 剛資 (昭 39 工)

忘れかけていた興奮を味わいました。

といいますのは、かなり以前にNHKのテレビ中継をみて、一度行ってみたいと思っていた「岸和田 だんじり祭り」でのことです。

会社勤めもあり、毎年ニュースを見ては来年こそと思いつつ、これまで行く機会を逃してきましたがインターネットで今日、明日開催という記事が目にとまりました。

あくる日家内と朝早く勇んで出発し、9時半に岸和田駅に到着。さっそく駅前の人だかりに全 34 台の内、14 台が宮入りする岸城神社に向かうことにしました。すでに多勢の人だかりがする交差点に着くと、さっそく警察官にここは危険とロープの中に押し込まれました。しばらくすると最初の 1 台が坂を転がるように、細い路地へ疾走して行く。これが「だんじり」かと思うまもなく、次の 1 台がこの交差点でやり廻しをし、勢いあまってこちらへ向かって来た。そしてジワッと頭上に迫まるように止まった。のっけからヒヤッとする一瞬に、心臓がポコポコと鳴る。



早速その場を離れ、岸和田城横の岸城神社でお祓いを受けている「だんじり」に近づいてみると「源平合戦」「大阪夏の陣」など名場面が精巧に彫刻してあることを知りました。私たちもお祓いを受け、曳行が始まった町の中に向かうと、あちこちで宮入りを済ませた「だんじり」が猛スピードで疾走し、歓声が聞こえてくる。その中を鐘と太鼓が聞こえる細い路地へ入っていくと沿道は人だかりで、押されるままに、またしてもロープの中に。そこは狭い旧紀州街道に沿った交差点で、民家の軒をすれすれにすり抜けるスリル満点のやり廻しを幸いにも次々と見物ができ、長年の念願を果たすこ

とができました。

そろそろ疲れてきたので帰ろうと駅へ向かう途中、「破損涉外係」と白いタスキをかけたハッピー姿のおじさんを見かけ、さもありませんと納得する一幕も。

人出は 36 万人とのことで、私にとって久しぶりにスリルと興奮を味わった良き一日となりました。来年の関西合同三田会は泉州慶應倶楽部担当で、また「だんじり」が見られそうとの話もあり、今度は皆さんと一緒に元気をもらいに行きたいと思えます。

《慶早ゴルフ対抗戦レポート》

廣川 守 (昭 57 政)

毎年恒例のゴルフ慶早戦が 9 月 8 日神戸ゴルフ倶楽部で開催されました。

心配された台風も去り六甲山山頂に位置するコースは平地よりかなり涼しく絶好のゴルフ日和となりました。

このところ慶應は 2 連敗。今回こそと思うものの参加者は早稲田側の半分。不安を抱えながらのスタートでした。ご一緒したのは慶應のエース多木吉晴さん、早稲田の塩原さん、武市さん。この日の武市さんには早稲田の神様が舞い降りたと思えないプレーが続出。2 ホール目のティーショットがチョロだったものの深いラフからの第 2 打がカップイン。大きめのアプローチはピンに当たり、強めのロングパットはカップイン。見事個人優勝を手に入れました。神様がついて下さったのですから早稲田側の勝利も仕方ないとあきらめもつきました。

プレー後は松茸すき焼きを囲んでの懇親会。最後には勝利者側の校歌を歌う筈でしたが、皆様飲み過ぎのせいすっかり忘れてしまい、早稲田側で参加した主人は 3 日間ぼやいておりました。

ちょっと一言

宮本 恭庸 (昭 62 経)

このたび、多くの国内外ランプワーク作家及び関係者の皆様のご支援を得て、7 月 13 日に KOBE とんぼ玉ミュージアムを開館させていただきました。<http://www.lampwork-museum.com>

震災 10 年を迎えた KOBE のこの地に、ランプワークで創られたガラス作品を通して、新たな未来

への夢と希望を与える『再生』『創生』の光を発信し、作家・関係者のみならず一般市民の方々にとりましても、誇り、そして心の拠りどころとなるミュージアムを目指してまいります。どうぞ足をお運びください。

優待券を倶楽部にお届けしておりますので、どうぞご利用下さい。よろしく申し上げます。

同好会だより

KKJC

《姫木平・真夏の夜のジャズ》

浅沼 清之 (昭 36 経)

残暑厳しい、8月26日(金)から、信州姫木平高原のペンション「森の音楽家」に2泊し、KKK(慶應軽音楽鑑賞会・文連)OB会主催の、ジャズライブ合宿に合流して参りました。KKJCからは、浅沼、黒田、前田各夫妻と近藤世話人の7人が参加し、涼しい高原のペンションで、2日間にわたる夜のジャズライブを心行くまで楽しみました。ミュージシャンは、塾の大先輩 鍋島さんや、理工卒のストライドピアノ第一人者小川理子さんが、他のミュージシャンと共に、ジャズの楽しさを堪能させてくれました。

昼間は、40人近い参加者が、ゴルフ組と観光組にわかれ、ゴルフ組には小川理子さんも参加、一年ぶりのゴルフとはいえ、敢闘賞を獲得しました。因みに、ベスグロは、当倶楽部の黒田さんでした。観光組は、信州に居を構える、塾の先輩の案内で、白樺湖周辺のドライブや、湿原の散策、美味しい蕎麦、そして温泉に浸かって、ゆったりとした一日を楽しみました。ペンションに戻ると、夕方から、全員がコンサートホールに集まり、ワインや水割りを片手に、ジャズライブを聴く、という至福の旅となりました。毎年夏のイベントとして企画されますので、ジャズファンの皆様は、是非、近藤世話人にご連絡下さい。

《鍋島先輩の傘寿記念コンサート》

近藤 正 (昭 39 商)

9月24日ノボテル甲子園にて、塾の大先輩鍋島直昶氏の傘寿(80歳)をお祝いする記念コンサートがあり、メンバー有志で行って来ました。日本有数のヴィブラホーン奏者であることはもとより、

後進の指導等もされており、多くのミュージシャンが勢揃いしました。特に、親友の東京から駆けつけた北村英治氏(塾卒 クラリネット奏者)との競演は見事でした。

食事をしながら、手拍子とったりして楽しくスイングしたひとときでした。

PC同好会

井上 光 (昭 35 法)

9月10日午後6時から開催の久しぶりの例会には、会員それぞれ宿題を持つての参加であった。

パソコン音痴の小生はPCをフリーズさせ、強制終了したため、「オペレーションシステムが発見出来ません」の表示が出て次に進まず、ソニーのサポートセンターに連絡すると、ハードデスクが壊れている。修繕費は5万円との答えだった。

そこで市川師範にお電話すると、同じくハードが壊れていると思うから、同好会に持参するように言われた。当日はハードの取替え手順をインターネットで確認し、往復20分かけてパソコン工房に出かけ7680円でデスクを購入され、会員注視の中で、ハードデスクの取替え作業を見事に実施されました。その後のシステム、アプリケーションリカバリも順調に進み、見事復活させて頂きました。さらにおまけにHDの記録容量が12GBから37GBと激増するおまけもあって、市川師範に感謝でした。

パソコン同好会は皆さんをハッピーにするところです。

次回は10月21日(金)開催予定です。

イーゼル会

《今月の絵》



黒田 豊夫 (昭 37 政)

ゴルフ同好会

八巻 晤郎 (昭40経)

“男も女も、老いも若きも、楽しいゴルフ”を標榜する近藤世話人の肝いりで9月29日、芦屋CCで関西婦人三田会(KLA)や近江慶應倶楽部のメンバーを加え、オール慶應懇親ゴルフ大会と銘打ち総勢18名の合同コンペを開催した。

当日は、夏の日射しが少々残っているものの涼しい風と高く青い空がすっかり秋を感じさせる気持ちの良いゴルフ日和となった。

女性と70歳以上は黄色マーク・ティ使用という特別ルールを利用した、万年青年を自負する森 隆元会長(1頁例会報告参照)と芳川KLA会長の対戦は、森元会長が前半でつけた3打差を守り91でホールアウト、ダブルペリアのハンディ戦でも見事優勝を飾った。またアウト9番打ち下ろし339ヤードのパー4では渡辺義博君がティショットでグリーン手前のバンカーまで運びパッティング中の先行組の度肝を抜くなどそれぞれが自分のゴルフを楽しんだ一日であった。



マジック同好会

例会のお知らせ

10月28日(金)午後6時半より倶楽部ルームにて開催します。

今回は楽しい絵本マジックなど2ネタを用意しました。材料費:2000円(2ネタ)

【注意】今回よりお弁当の注文はとらないことにしました。事前にお食事をお済ませの上ご来場ください。

世話人: 塚本 明久 (H9総)

会員の輪

《縁》

岩井 功治 (平9商)

皆様初めまして。岩井 功治 と申します。商学部平成9年卒業、木村弘之亮ゼミ(公法、行政法)で学びました。市内の会計事務所で勤務しております。

ここ一年程は変化の多い時期を過ごしました。昨年11月に結婚し、今年は神戸慶應倶楽部へ入会させて頂き、また肉親の死を経験しました。

慶應の繋がりでは、仲人をお願いしたお方が慶應卒で、私の中学時代の恩師であり、また妻の上司でもあります。妻は私の出身校で現在教諭をしております。妻の父もその学校の卒業生で、父のその学校の大先輩が神戸慶應倶楽部の現会長をされておられる 五代 友和 様という経緯もあり、結婚を一つのきっかけに神戸慶應倶楽部へ入会させて頂くというご縁が出来ました。

義理の兄がタイで仕事をしており、今年初めてタイを訪れました。タイの人々は親切でおっとり優しい性格をしている印象を受けました。その理由の一つは熱帯の暑さにあるかと思えます。日本の夏より太陽光の密度が濃く、バンコクでは恥ずかしながら危うく熱中症でダウンする寸前までいきました。少し郊外へ行くと若干過ごしやすく感じましたが、あの蒸し暑さではせかせかしても疲れるし、交通機関が時刻どおりでないとも怒ってもよけいに暑さにやられてしまいそうです。そんな環境の中では、おおらかに過ごさないと疲れるぞ!とタイの人たちに言われている様な気がしたのです。そしてあの独特の言語、特にタイ文字に私は衝撃を受けると同時に、好奇心を煽られました。人間、文化、言語、食事等、新しい発見の連続でした。

縁とは不思議なもので、一つのご縁から今まで知らなかった新しい世界へと繋がって行く様な感じがします。どうぞ若輩者ですが宜しくご指導ください。

このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。どしどし投稿してください。(編集部)

～～10月例会のご案内～～

10月20日(木) 18:30～ 倶楽部ルーム

《新企画駅弁バラエティ試食会》

神戸のお弁当と言えば、例会でもお馴染みの“淡路屋さん”。今回はこの1年間にリリースされた新商品(5～6種類)を、寺本 勤会員(昭46商)のご好意で提供いただきます。行楽の季節にいながらにして旅気分を味わってみてはいかがでしょうか?

会費：1000円

今回は会費を特別に安くしています。
ぜひご出席ください。

～タイツアーについて(続報)～

徳丸 公義幹事長

11月27日～12月1日実施のツアーの際にバンコク三田会(会員数170名)との交流会が11月28日に開催されることが決まりました。

バンコク三田会の11月の例会をこの日に変更されるなど先方は交流会を非常に楽しみにしておられ、夕食をご招待していただくことになりました。

現在の参加予定者数は15名ですが、席数に若干の余裕がありますので、参加御希望の方は至急倶楽部までお問い合わせください。

連合三田会の大会券をお持ちの方へお願い

不参加の方は、事務局までお持ちください。
参加の方が代理で景品と引き換えてきます。交換の品物は年末のオークションに提供いただきますようお願い申し上げます。(幹事長)

～～事務局よりお願い～～

- ◎ 例会等にご出席の会員さまはお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂く場合がございますのでご注意ください。
- ◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、その都度必ず事務局にお知らせください。

～～今後の行事予定～～

11月12日(土) 関西合同三田会 城崎

(11月例会はこの会を以って振替になります。)

12月10日(土) 年末家族会 ポートピアホテル

1月5日(木)	賀詞交歓会	倶楽部ルーム
1月27日(金)	1月例会	倶楽部ルーム
2月16日(木)	2月例会	倶楽部ルーム
3月24日(金)	3月例会	東天閣予定

詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご確認ください。

会長のひそり亭

- 地球を守ろう という京都議定書にウンと言わないアメリカ。そのアメリカにハリケーンの猛威天の怒りと違うのかなあ…
- バブルの後の長い不況もやっとトンネルの先に明かりが見えてきたみたい。やっぱり金融が落ち着いて来たんやろな…
- 某ファンドがどこそこの株を大量保有。いつまでマネーゲームで世の中を掻き乱すんやろ…

皆さまどしどし原稿をお寄せください。
「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子
八巻晤郎

編集後記
○暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもの。一気に秋の気配です。しばらくは穏やかな時節が過ぎてくれたらいいですね。秋はやりたいことが一杯ありますから…。(ほ)
○九月は選挙に始まり、自民党の大勝と小泉チルドレンの話題で政治の季節の始まりかと思われましたが、月末に阪神優勝。これで関西は当月政治にはおさらばムード(?)十月の神戸市長選も九月みたいに盛り上がって欲しいもの。(晤)